

令和7年第4回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和7年12月9日（火）・10日（水）午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件 名	答弁者
12月9日（火）	1	丸 子 直 樹	1 山元町におけるクマ目撃情報と調査・情報提供体制について 2 町管理路線における雑草対策の強化と地域協働による防草対策等について	町 長 教育長
	2	大 和 晴 美	1 都市計画マスタープランの改定に伴う関連事項について 2 クマ対策について	町 長 教育長
	3	齋 藤 俊 夫	1 約束を守る健全な町政運営について	町 長
12月10日（水）	4	岩 佐 秀 一	1 農業振興地域整備計画の進捗状況について 2 元坂元中学校跡地の事業進捗状況について 3 子育て世帯への支援について	町 長
	5	伊 藤 貞 悦	1 公共施設（含む学校）等の衛生管理について 2 児童・生徒の学校生活の現況について	町 長 教育長
	6	遠 藤 龍 之	1 国民健康保険事業の取り組みについて 2 町営住宅の取り組みについて 3 クマ対策について	町 長

通告番号	1	4 番 丸 子 直 樹 議員
------	---	----------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 山元町におけるクマ目撃情報と調査・情報提供体制について</p> <p>日本各地でクマ出没の増加が報告されており、本町においても適切な情報収集と住民への迅速な周知が求められている。安全確保に向けた調査体制と情報提供の在り方について伺う。</p> <p>(1) これまでの目撃情報と被害状況について</p> <p>(2) 現地確認の手順と調査結果の整理について</p> <p>(3) 調査結果を住民が確認できる情報提供体制（広報紙・Web・LINE 等）の改善点について</p> <p>(4) 猟友会との連携体制と支援、及び安全の確保について</p>	町 長
<p>2 町管理路線における雑草対策の強化と地域協働による防草対策等について</p> <p>近年、町管理路線における雑草繁茂は管理体制の逼迫や自然環境などの変化により深刻化しつつある。地域協働の強化や防草技術の活用を含む総合的な対策の必要性が高まる中、本町の現状と方針について伺う。</p> <p>(1) 町管理路線の雑草繁茂の現状把握と町の全体的な対策について</p> <p>(2) 地域協働による雑草対策の現状について</p> <p>(3) 防草シートや除草剤の積極使用による効率的な防除草について</p> <p>(4) 多面的機能支払交付金を活用した防草対策のきめ細やかな案内体制の必要性について</p> <p>(5) 雑草繁茂や害虫発生を未然に防止するための広報活動について</p>	町 長

通告番号	2	5 番 大 和 晴 美 議員
------	---	----------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 都市計画マスタープランの改定に伴う関連事項について</p> <p>都市計画マスタープランは、概ね20年後の将来像を展望しつつ、今後10年間の計画を市町村が策定するものである。今後の改定に向け、以前示された中間報告等に関連する以下の事項を伺う。</p> <p>(1) 道路の老朽化対策について</p> <p>ア 今年7月から山元町公式 LINE による不具合通報ができるようになった。今までにどれくらいの通報があったか。</p> <p>イ 住民通報を補修計画に反映する仕組みは。</p> <p>(2) 自転車の安全確保に向けて</p> <p>ア 町や教育委員会が定期的を実施する通学路の点検結果は。</p> <p>イ ガードレール設置など自転車走行区域の整備計画は。</p> <p>(3) 国道から東街道までの道路を拡張する具体的な整備計画は。</p>	町 長 教育長
<p>2 クマ対策について</p> <p>県では、県内全域を対象にクマ出没警報を発令中だが、依然多くの目撃情報寄せられ、クマと遭遇しやすい状況が続いていることから、クマ出没警報を今年の12月末まで延長した。そこで、本町のクマ対策について伺う。</p> <p>(1) クマからどのようにして農作物を守るのか。</p> <p>(2) 小中学生をクマから守るため、学校ではどのようなマニュアルが整備され、対策がなされているか。</p> <p>(3) 町民をクマから守るため、町としてどのような対策がなされているか。</p>	町 長 教育長

通告番号	3	10番 齋藤俊夫 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 約束を守る健全な町政運営について</p> <p>町民の大きな期待を背負っての船出から早4年、橋元町政も残すところ5か月となった。果たして、この間の町政運営がどうであったのか、細目5点にわたり認識を伺う。</p> <p>(1) 「必ず実現するとした公約等」について、これまでの答弁を中心に「政治姿勢」及び「公約の達成状況」に関して伺う。</p> <p>ア 令和4年6月と5年12月定例会の2度にわたり、「町長選の最中に某革新政党と政策協定を締結した事実関係はない」と発言し、令和5年12月定例会では、虚偽答弁ではないと協定締結を改めて否定されたことに関し、再度、事実と整合が取れたものなのかについて</p> <p>イ 去る9月定例会の答弁では、公約の5つの柱に紐付く主要施策19項目のうち達成したものは16項で着手した3項目の達成を急ぐとしている。しかし、そもそも主要項目数が欠落し、達成したとする項目には全く異質な施策を一括りに捉え、担当課確認だけで達成に含めるなど曖昧模糊だと感じている。</p> <p>主要施策の項目数を明確にした上で、全項目の個別具体的な取り組み状況、及び事実に向き合った評価について</p> <p>(2) 「自治体の長に求められる手腕」について、先の地元紙掲載の「手腕点検」で指摘された点を中心に町のトップが果たすべき役割等に関して伺う。</p> <p>ア 「手腕点検」では、橋元町政が抱える問題の核心を適確に捉えた、シビアなケースが目立つ記事となっていることへの基本的な認識について</p> <p>イ 市町村長に求められる資質として、「判断や指示をする」や「夢を語り進むべき方向を示す」ことが挙げられる。いみじくも、「手腕点検」では、「英断しないと町は衰退する。しっかり勉強し、将来像を示してほしい」と指摘していることへの認識について</p> <p>(3) 「町民や職員を守る姿勢」について</p> <p>ア 手腕点検では、「町長選後、声の大きい人たちが職員を疲弊させている。」という指摘がある。就任後設置の目安箱に寄せられた職員からの問題提起を年度別にどのように捉え、どう対処しているのか。また、制定を促してきた「ハラスメント条例」の具現化に向けた取り組み状況について</p> <p>イ 去る9月定例会で指摘した、遠地津波対応の検証結果の取りまとめ状況について</p> <p>ウ 今や国を挙げて取り組む事態となったクマ対策について、県の「ツキノワグマ総合緊急対策」や12月県議会での補正予算、及び他市町村の対応を見据えた具体的な取り組みについて</p>	町 長

<p>(4) 「町政の土台となる財政改革」について、就任以降、身の丈に合った持続可能な予算編成・規模実現に向けた「スクラップ&ビルド」の具体的な実績、及び町長査定における査定実績（割合）について</p> <p>(5) 「分断解消と町民の人権擁護に向け、根拠と思いやりのある対応」について</p> <p>ア 震災復興の懸案である合戦原区における行政区編入問題の取り組み状況について</p> <p>イ 町管理の公共施設内における陳情書への署名活動行為が「政治活動」に該当するか否かの認識について</p>	
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

通告番号	4	9 番 岩 佐 秀 一 議員
------	---	----------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 農業振興地域整備計画の進捗状況について 山元東部地区農地整備事業区域の換地・登記業務が終了した後に、山間部の農業振興区域を見直すとのことであるが、その進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 農用地区域除外等の申出受付が12月1日から再開されるが、その周知方法について</p> <p>(2) 農業振興地域のエリア見直し結果について</p> <p>(3) 山元南インターチェンジ周辺の土地活用を町発展の起爆剤に検討してはどうか。</p>	町 長
<p>2 元坂元中学校跡地の事業進捗状況について 元坂元中学校跡地は、移住・定住用宅地と坂元地区活性化の施策として検討されているが、その事業の進捗状況を伺う。</p> <p>(1) 事業費約9億円の今後の事業の見通しについて</p> <p>(2) 整備区画を変更する考えについて</p> <p>(3) 一区画当たりの単価をどう検討しているのかについて</p> <p>(4) いつまでに事業を完結するのかについて</p>	町 長
<p>3 子育て世帯への支援について</p> <p>当町には高校が無く、子育て世帯の通学費負担が多いことなどが、少子化要因の一つと考えられる。その改善策として、通学定期券購入の一部負担の検討を行い、安心して高校に入学できる支援を行うかの考えについて伺う。</p> <p>(1) 北海道南幌町では、通学費助成金として月最大1万円助成していることを参考に、本町でも同様の取り組みをする考えはないか。(例：令和6年度 136名に事業費12,621千円)</p>	町 長

通告番号	5	12番 伊藤 貞悦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 公共施設（含む学校）等の衛生管理について コロナと季節性インフルエンザが増加の傾向にある。今後の蔓延予防と防止対策について以下の事を伺う。</p> <p>（1）公共施設の衛生管理・除菌対策について ア 公共施設等からペーパータオルが撤去された。その理由と今後の対応策（含む啓蒙活動）について イ 自己管理意識の啓蒙や醸成のための対応であっても、公共施設等においては別途対策が考えられないか。 特に、集団生活をしている学校や複数の集団が集う施設には、最低でも除菌ジェルは設置できないか。 ウ 学校や公共施設の各トイレに、衛生的な使用を目的とした除菌ティッシュや便座シートの設置、さらに暖房便座やウォシュレットの導入は考えられないか。</p> <p>（2）コロナと季節性インフルエンザの蔓延防止対策について「手洗い」と「うがい」の励行や指導は大事であるが、十分とは言えないことについて ア 児童生徒や乳幼児が利用できるように、以前行っていたマスク等の設置や配布を再検討する考えはないか。 イ 予防接種希望者への料金支援の拡大はできないか。</p>	町 長 教育長
<p>2 児童・生徒の学校生活の現況について 小中学校の現況について、以下の事を具体的に伺う。</p> <p>（1）「いじめ」の現状と対策について ア 小・中学校におけるそれぞれの現状と対策について イ 発生の要因・原因について ウ 指導後の状況について</p> <p>（2）「不登校」の現状と対策について ア 小・中学校におけるそれぞれの現状と対策について イ 発生の要因・原因について ウ 指導後の状況について</p> <p>（3）町民バス利用の通学について ア 現状の把握はしているのか（含む、保護者の送迎） イ 利用料金の無償化は考えられないか。</p>	町 長 教育長

通告番号	6	3 番 遠 藤 龍 之 議員
------	---	----------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 国民健康保険事業の取り組みについて</p> <p>市町村の国民健康保険事業は、2018年度から市区町村と都道府県との共同運営の保険となり、都道府県が財政の監督権を負う形となり、これまでの保険制度と大きく変わっているが、次の点について伺う。</p> <p>(1)「都道府県化」に伴う町国保事業への影響は。</p> <p>(2)2025年度の税率引き上げによる影響は生まれているか。</p> <p>(3)国保事業の各種取り組みの対応は。</p> <p>ア 「均等割」軽減の拡充が検討されているが、町国保の取り組みの対応は。</p> <p>イ 出産被保険者の保険税の軽減状況は。</p> <p>ウ マイナ保険証の一本化に伴う影響は。</p> <p>(4)サラリーマンの健康保険事業より高く設定されている町国保税、負担軽減のため税率の引き下げは考えられないか。</p>	町 長
<p>2 町営住宅の取り組みについて</p> <p>国と地方自治体には、「健康で文化的な生活を営むに足る住宅を整備し、これを住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸する義務がある。」と公営住宅法で定められているが、次の点について伺う。</p> <p>(1)町営住宅、復興公営住宅の取り組みの現状は。</p> <p>(2)町営住宅と復興公営住宅の違いは。</p> <p>(3)町営住宅と復興公営住宅の入居状況は。</p> <p>(4)復興公営住宅に入居する低所得世帯への家賃減免措置のさらなる延長は。</p>	町 長
<p>3 クマ対策について</p> <p>全国的に発生しているクマによる被害について、本町においてもクマの目撃情報が複数寄せられている。現場確認の結果、クマの痕跡は確認されていないが、町の対応として県の緊急銃猟対応マニュアルを参考とした実施体制のもと、国・県機関と連携し迅速な情報提供や注意喚起などの対応を行うとしているが、クマ対策の現状と今後の対応について改めて伺う。</p>	町 長